

JR東海労なごや

2023年 3月 5日 No.1218
JR東海労名古屋地方本部
発行者：荻野隆一
編集者：教宣部

2023JR総連春闘を「統一要求・統一闘争」で闘おう！

第33回定期地本委員会開催

2月27日、JR東海労名古屋地方本部は金山「アビタン」において第33回定期中央委員会を開催しました。

2023JR総連春闘を名古屋地本一丸で闘おう！と地本委員長挨拶



冒頭、主催者を代表して荻野地本委員長から挨拶をうけました。2023春闘の課題と、闘う決意が述べられました。

挨拶の主な内容「会社の『業務改革』と称した効率化に反対し組合委員・社員の生活を守る。ウクライナとロシアの戦争で軍需産業は莫大な利益を上げている、この戦争の本質を見抜かなければならない。政府は危機感をあおり防衛関連予算を増大させ軍事大国化を進めている。これを阻止しなければならない。また54歳原則出向を口実とした組織破壊を許さない。加藤副委員長を車掌に戻すため闘う。出向者の労働条件も含め安心して働ける職場を目指して名古屋地本組合員一丸となって闘おう」抜粋。

職場での報告を組合員からうける

来賓のOB会長からOBも共に闘うと連帯の挨拶がありました。昨年の地本大会以降取り組みの経過と春闘をはじめ春の闘いの方針が執行部側から提起され、質疑に入りました。

参加した組合員から職場での取り組み様々な問題点が報告されました。発言をうけ各執行委員から答弁更には御辺書記長から総括答弁がなされ全ての方針が全員で採択されました。

最後に荻野地本委員長の団結ガンバローで委員会を終えました。

また今委員会でJR東日本で理不尽な日勤教育にさらされている東労組の仲間に対し参加者全員で檄布を作り送ることとしました。



JR東海労名古屋地本は職場の声を元に闘いを進める！